



メイのスキンシップは
性欲つよつよ!

ジャローダ
×
メイ

ねっとりイチャラブ
スローセックス

ストーリー: 69ページ
テキストレス: 69ページ

全138ページ

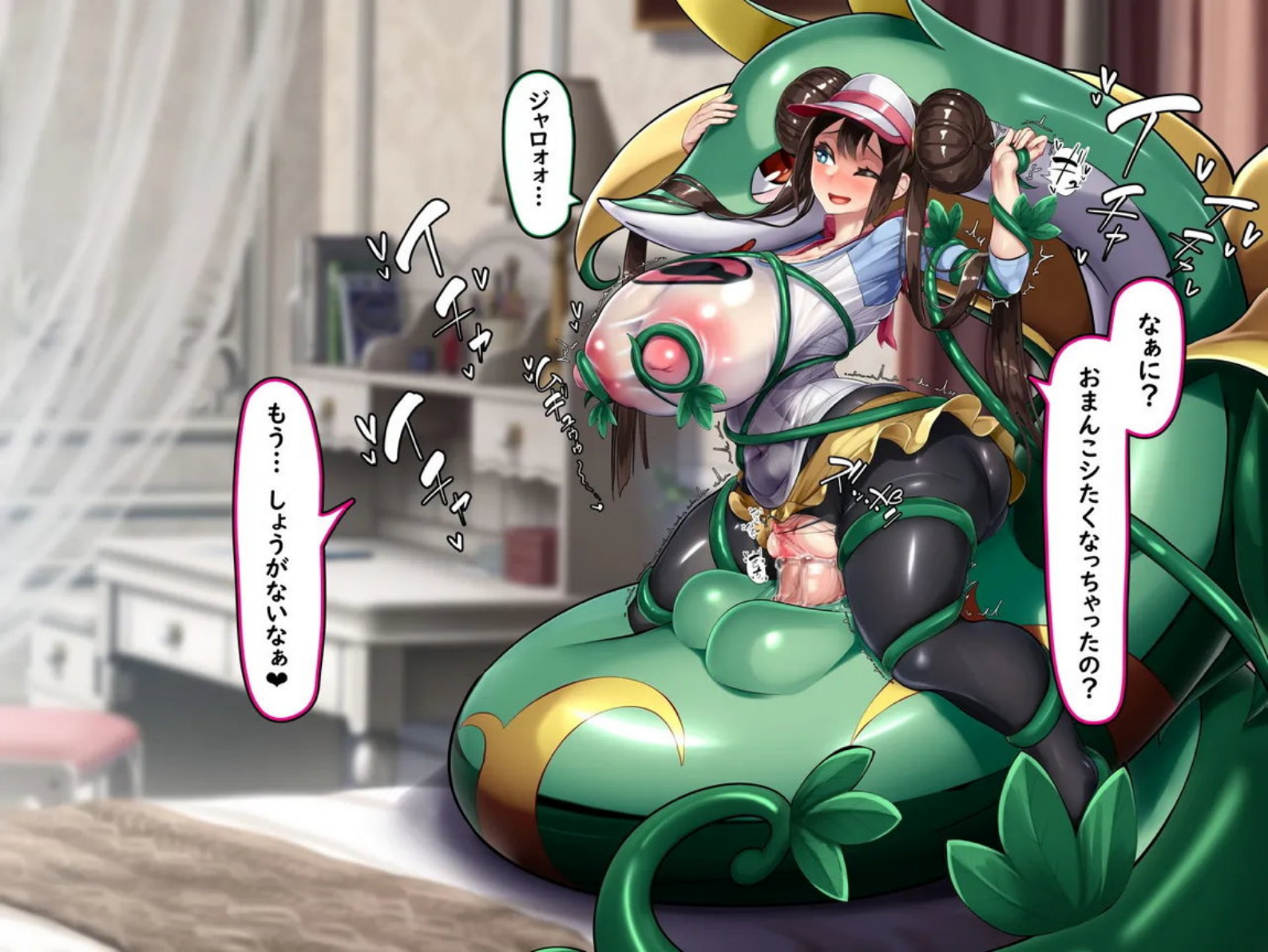


ちよつと度が過ぎて甘やかし過ぎちゃうところもあるけど、ナカが良い事は良い事だよね！

私動けないんだけど？







ジャロオオ...

なあに？

おまんこシたくなっちゃったの？

もう...しょうがないなあ♡

私のジャローダは甘えん坊。

おちんちんがイライラすると
私のおまんこが恋しくなっちゃうみたい。



人間がポケモンとこんなこと
シチャイけない事なんてわかってるけど、
甘えてくる姿が可愛くて否定できない。

この子が気に入ってくれる番いの子探してあげないとなあ…
これまでも何回かメスのジャローダとあてがってみたけど、
結局のところ私のおまんこに帰って来ちゃう。

私のおまんこも、ポケモンちゃんぽを受け入れることが
日常的な所為か、全く嫌な気がしない。

それどころか、クリトリスを本気勃起させつつ
愛液をダラダラと垂れ流しにしてしまう。

今か今かと、ご褒美を待ち、
涎を垂らすように…。





いっ!

ん...
く...
く...

ジャローダのちんぽが、おまんこの中で一回り大きくなる。
そのあまりの長さは私のお腹を持ち上げ、筒状の膨らみを作る。

これは、この子の射精の兆候だ。

ジャロオオ...

んっ...♡
おちんちん
おっき...♡

はいっ!



おちんちん
ムズムズしてきたね ♡

ジャロ〜 ♡

よしよし
精子出し出しシようね ♡





ジャロ…ッ！

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

ドクン！と私の膣内でちんぽが脈打つ。
その瞬間、私の体温よりも熱い
半液体状の精液が子宮に注がれていく。

精液の重さハッキリと感じる。

体格の大きいジャロードの射精は人間のそれとは段違い、
ドクンドクンと脈打つ度にお腹が重くなっていく。



気持ちよさそう…っ♡
ビュービューして
スッキリしようね♡

ニャー

ん…っ♡
はあ…っ♡

上手上手♡
ちゃんと種付け出来るよ♡





私も気持ちいいよお…っ♡

ん…んはまあ…

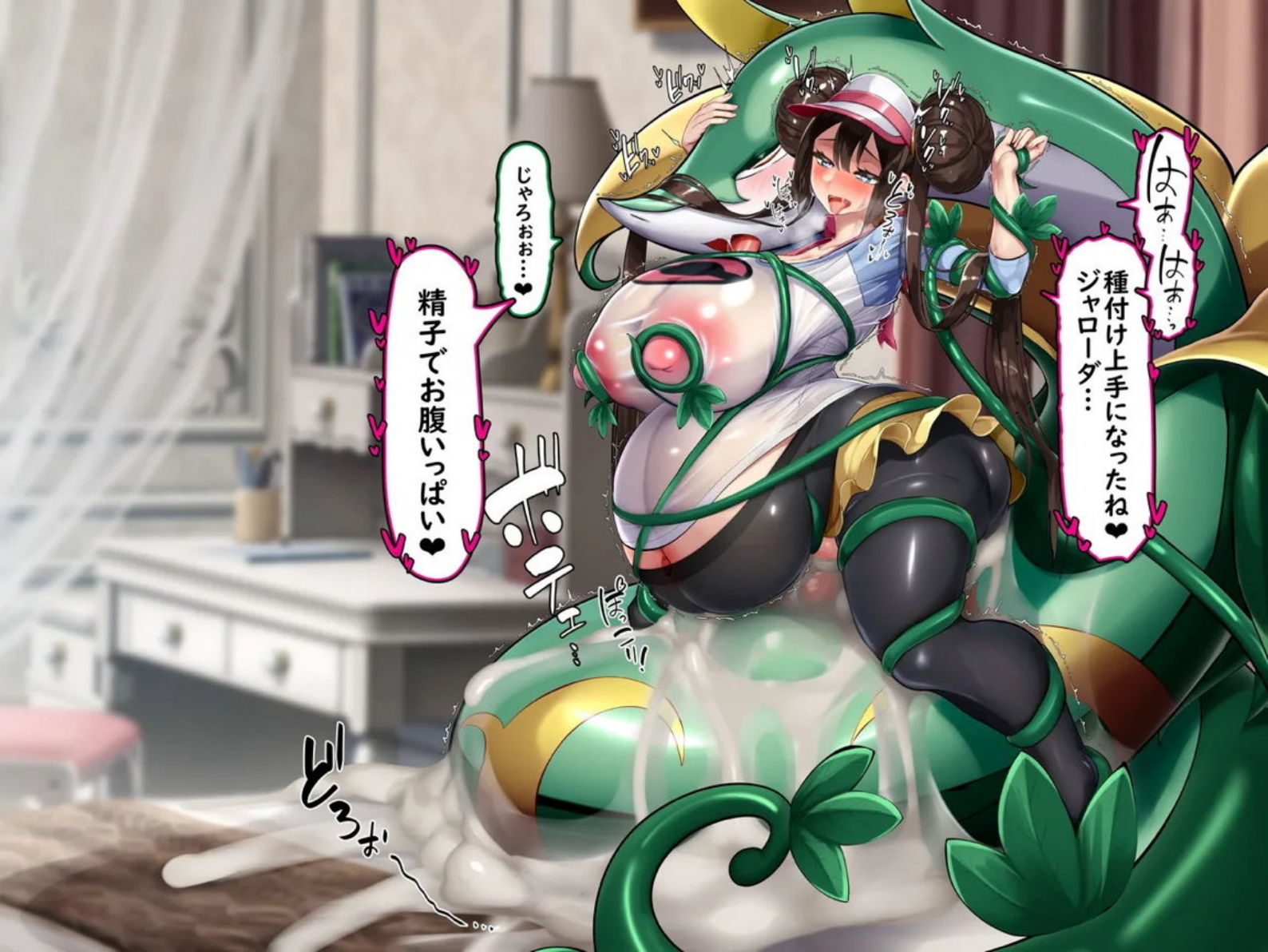
子宮にキクうう…♡

うわっ
うわっ
うわっ

うわっ
うわっ
うわっ

うわっ
うわっ
うわっ

うわっ
うわっ
うわっ



はあ...はあ...

種付け上手になったね♡
ジャローダ...

じゃろお...♡

精子でお腹いっぱい♡

ポッポッポッ

ぽんぽん

どろろ

ポケモンの精子を人間の子宮で受ける。

子宮を精液でパンパンにされる感覚が、
病みつきになってポケ森はやめられない。

もう…

私の体 ポケモンのおちんちんで
赤ちゃん作りたくないでよお♡

異種の遺伝子にもかかわらず、私の子宮は繁殖期の
スイッチが入ってしまいそうになる。

ポケモンのものとはいえ、精子は精子だ。
私の子宮はつい誤動作してしまう。



丁寧私の子宮に精液を注ぎ込むジャローダの
健気な姿にキュンときてしまう。

ジャローダ本人は甘えているだけのつもりなんだろうけど、
おちんちんは私をメスとして墮とす気満々なのがわかつちゃう。

ほら…♥
またキンタマが痙攣してる♥



こんなに可愛いのに、ちゃんと
オスとしての役目を果たそうとしてるんだ。

我慢しないで♡

私を孕ませるための
精子工場フル稼働だね♡

また射精しちゃいそう？

えへへ♡



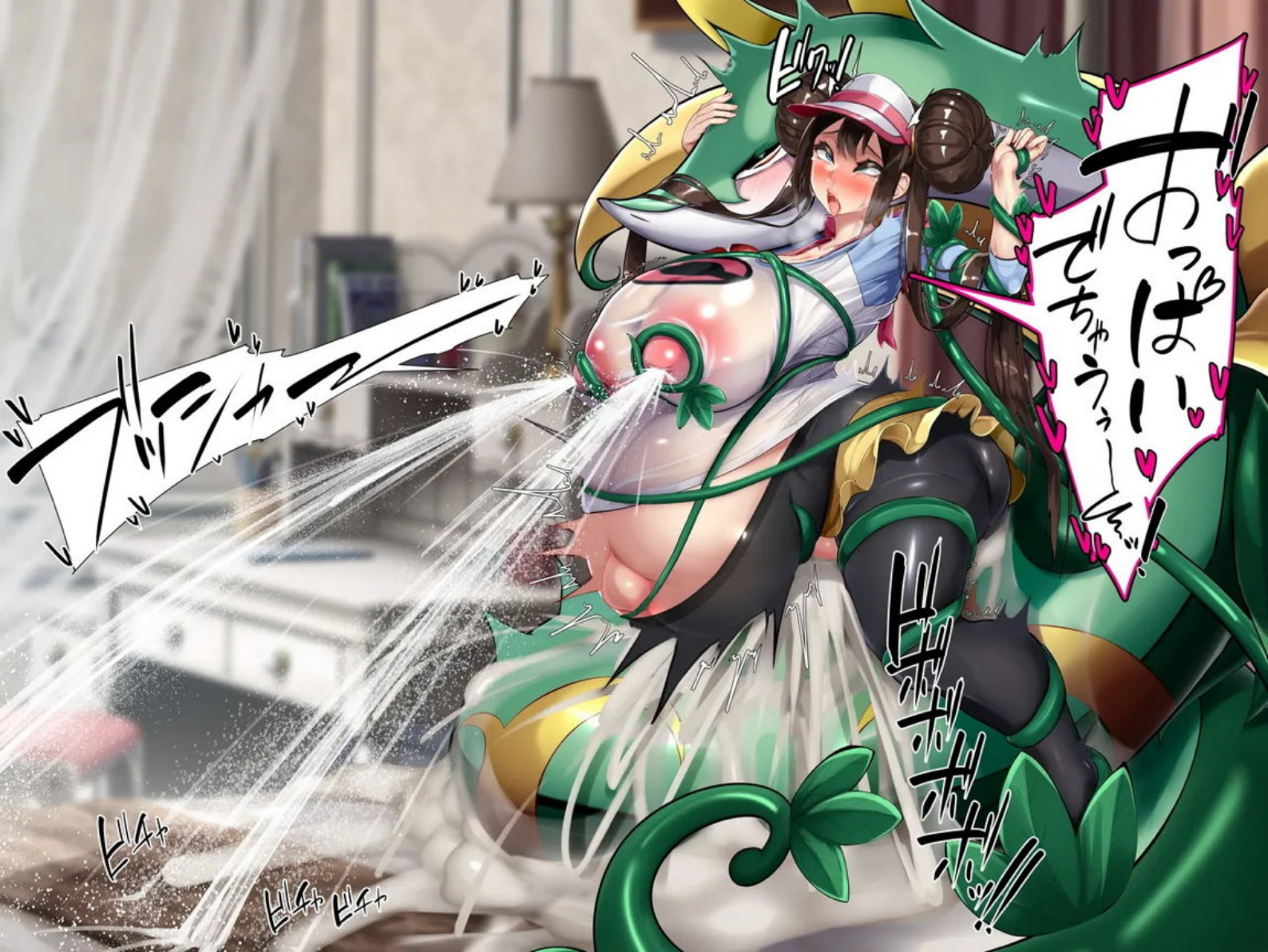
それはまるで遺伝子によるマーキング。



「この穴は俺の物だ」と言わんばかりのザーメンマーキング。

女の体の壊さんばかりのポケモンの射精は、
私の体を苗床に目覚めさせるには十分な刺激だ。





おっぱい出っちゃった♥
お腹も重くて暖かい…♥



おっぱいから母乳出ちゃった…♥

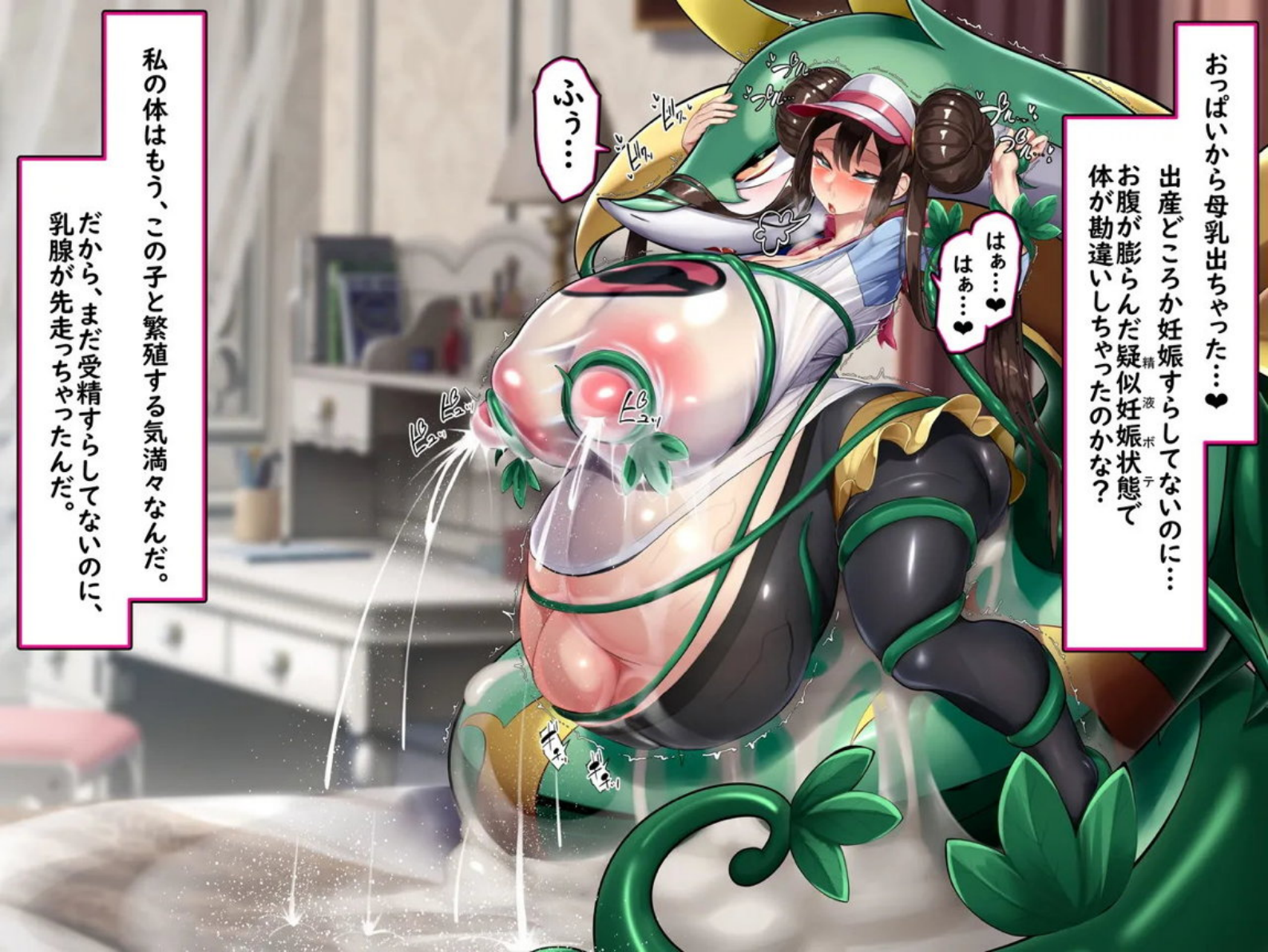
出産どころか妊娠すらしてないのに…
お腹が膨らんだ疑似妊娠状態^{精液ポテ}で
体が勘違いしちゃったのかな？

はあ…♥
はあ…♥

ふう…

私の体はもう、この子と繁殖する気満々なんだ。

だから、まだ受精すらしてないのに、
乳腺が先走っちゃったんだ。



ねえ 見てジャロード

ジャロ?

これ全部キミの精液だよ
上手に射精できました♡

えらいえらい♡



一方で私の体は全然偉くない。

この子の精子にキュンキュンときめいちゃってる…

だってだって…お腹の中で精子たちが
卵子を探して泳ぎまわってるんだもん…

うう…受精させてあげたい…

本当はダメなのに…
私の体 性欲強くて困っちゃう



ジャロロオ…♡

ん？

また出ちやいそうなの？
射精

良いよ♡



射^だ精しちやってエエ!!







私はジャロードが大好き…

好きすぎてこの子の
チンポも精子も愛おしい…♡

ら…卵巣が疼く…♡

ヤバ…今にも排卵しちやいそう♡



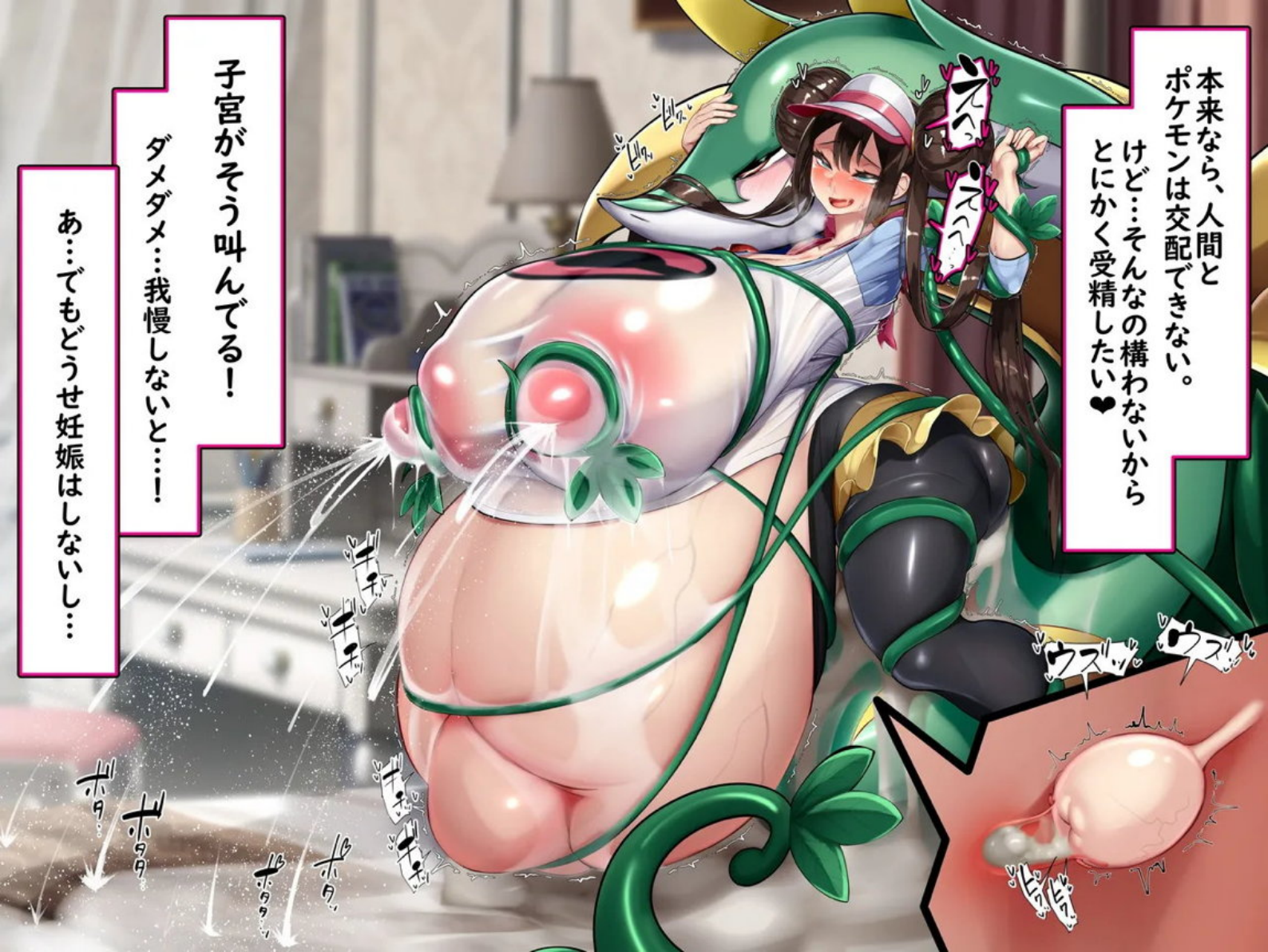
本来なら、人間と
ポケモンは交配できない。

けど…そんなの構わないから
とにかく受精したい♡

子宮がそう叫んでる！

ダメダメ…我慢しないと…！

あ…でもどうせ妊娠はしないし…









私に覚悟はあっけなく砕ける。

トレーナーとポケモン、その絶対的な上下関係、
それが崩壊した気がした。

どっちがご主人様なのか…。

少なくとも私の体は、この子を
「旦那さん」だと認識してしまう。





ジャロロ…?

へへ…いっけね♥
タマゴ^卵…出^排ちやった♥

私とこの子の遺伝子…
混ぜっこしちゃった…

ジャロロ
ジャロロ
ジャロロ







え...!? ちょ...!
ジャローダ!?

ウスウス...
ウスウス...

ウス...

ユルルル...!





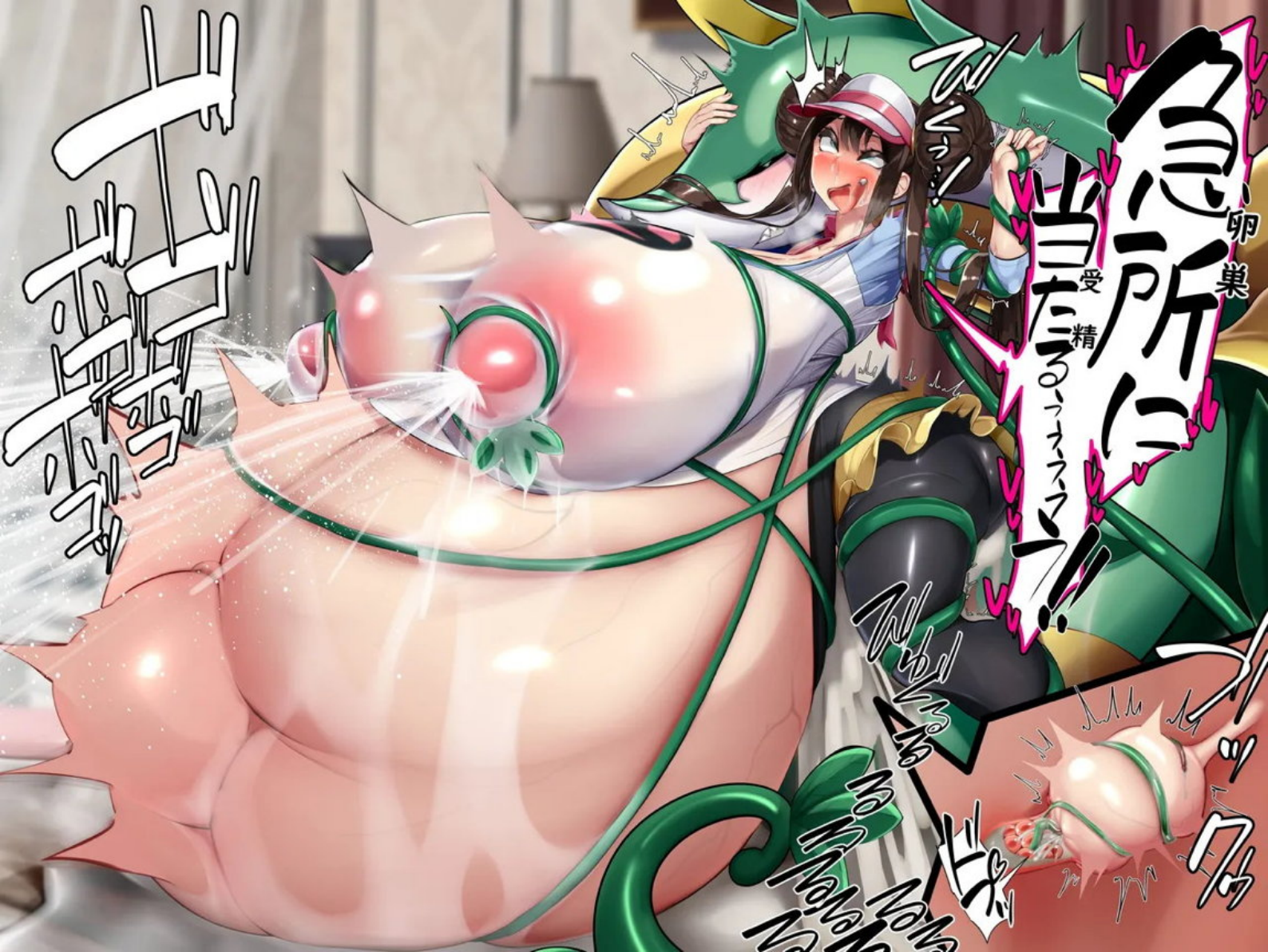


ヒュ.....! ヒュ.....!

やっべ♥
赤ちゃんの素
いっぱい出しちゃった...♥







急所

卵巣

受精

受けた

うわー

うわー

うわー

うわー

うわー

うわー

うわー







やどりぎのタネえ…♡
芽吹くううう…♡

タネマシンガン
全部当たるう…♡

やどりぎのタネえ…♡
芽吹くううう…♡



卵巣の中の未熟な卵子まで
受精させられてるうう……♡

私の卵子…使い切っちゃうよおお…♡
でも…それも悪くないかも…♡

7.3.6a

7.3.6a

7.3.6a



子宮の中は精液の海が広がっていた。

そのタンパク質の白い海の中には、
受精卵という命が漂う。
人間ホケモン
私とジャローダの愛の結晶だ。

だが、本来なら着床する事はない。
染色体が違いすぎるからだ。

そう、あくまで本来なら――。





え…今の感覚…♡





これ…
妊
娠
デキちゃったかもお…♡





ズグンズグンと鼓動するお腹。

これ…胎動だ…♡

さっきの「ツプン」という
感覚は着床痛だったのかも…♡

私のお腹にジャロードの子供が
宿ったのだと私は悟った。



ジャローダああ…♥

ジャロオ…

この子…こんなにオスつ気
強かったんだ…

惚れ直しちゃった…♥



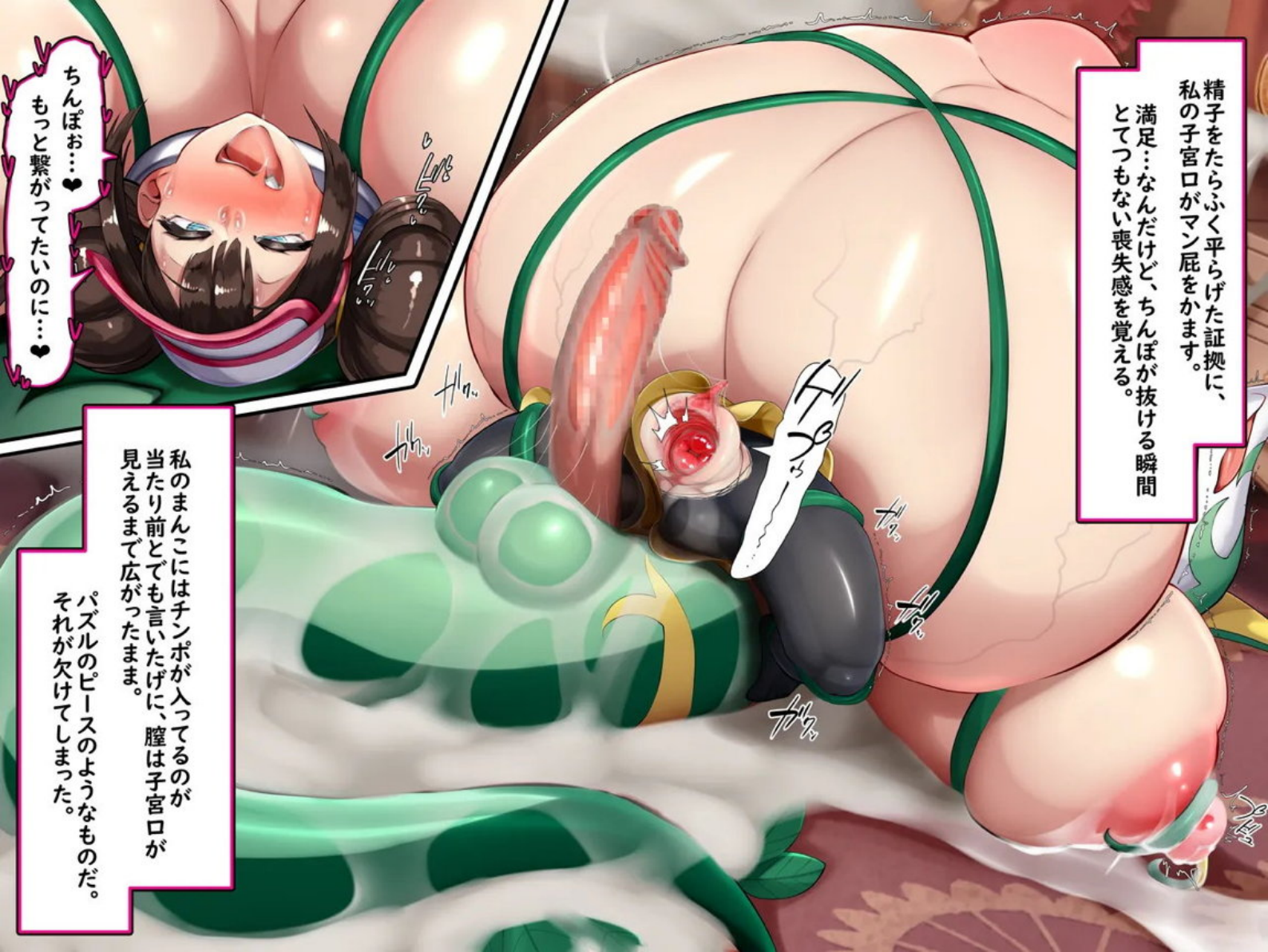
精子をたらふく平らげた証拠に、
私の子宮口がマン屁をかます。

満足…なんだけど、ちんぽが抜ける瞬間
とてつもない喪失感を覚える。

ちんぽお…♡
もっと繋がっていたいのに…♡

私のまんこにはチンポが入ってるのが
当たり前とも言いたげに、膣は子宮口が
見えるまで広がったまま。

パズルのピースのようなものだ。
それが欠けてしまった。





ジャローダ…?
疲れて眠ちやった…?
もう…可愛いなあ…♡

タップリ中出して満足したのか、
ジャローダは寝息を立てて
気持ちよさそうに眠ってしまった。

スウ…
スウ…

スウ…

ところが私の子宮はまだ欲求不満。

ついには、子宮口をパクパク開けて求愛(?)してしまう。
こんなに子宮口をパッキリ開けているのに胎内の精液は溢れない。



精液とは名ばかりに、固体寄りの液体。
ジャムのような粘度、そんな物を子宮に詰め込まれたんだ。
そう簡単に溢れたりはいしない。





これって…

ところがどっこい、精液以外の何かが
溢れそうになる感覚を胎内に覚える。

イッた時や種付けされた時は違う
快楽と満足感が、全身に走る。



う...♡
産まれ...♡

もも









スウ…
スウ…

よ…汚しちゃった…
お部屋…片付けないと…
ママに…叱られ…

私は今にも気絶アクメしそうな快樂に
身悶えているというのに、種付けした張本人は
のん気に眠っている。





やば...♡
頭真っ白...♡

私も寝ちやお...♡

ん...ん...

ん...

ん...

ん...



20%... ♪

終

制作・著作
かわはぎ亭









































































































































